

災害からいのちを守る赤十字



災害への対応を想定し、訓練を行っています。

日本赤十字社が行っている国内の災害救護活動、救急法などの講習普及事業、青少年赤十字活動、国際救援活動など様々な活動は、国や県などの補助金によらず、赤十字の活動にご賛同いただいた皆様からの活動資金によって支えられています。

活動資金へのご協力、ありがとうございました。



日本赤十字社

Japanese Red Cross Society

千葉県支部

あなたが支える赤十字活動

「苦しんでいる人を救いたい」

傷つき苦しむ人に敵も味方もない。

150年前に戦場で芽生えた赤十字の考えは、今では人間のさまざまな痛み・苦しみ・悲しみに手を差し伸べる活動へと広がりました。

日本赤十字社は、常に社会のあらゆるシーンに目を向け、救いを必要とする人々のために人道的支援活動を展開しています。



平成29年7月5日からの大雨災害
直ちに医療ニーズ調査・救援物資の配付を行いました。



平成28年熊本地震
成田赤十字病院からも救護班を派遣しました。



国外における活動の支援も行っています(ネパール地域防災事業)



救護班を編成し、災害に備えています(災害救護訓練)



子どもたちに防災の大切さを伝えます(赤十字奉仕団)



友達を助ける技術を学びます(救急法フェスタ)

赤十字はみなさまにお寄せいただいた活動資金に支えられています

- 災害救護体制の充実・強化
- 健康・安全のための知識と技術の普及
- 青少年赤十字の活動
- 赤十字精神と社旨の普及
- 医療事業の充実
- 国際活動の充実
- 赤十字奉仕団による活動
- 義肢製作所の運営
- 地域における赤十字活動
- 血液事業の推進



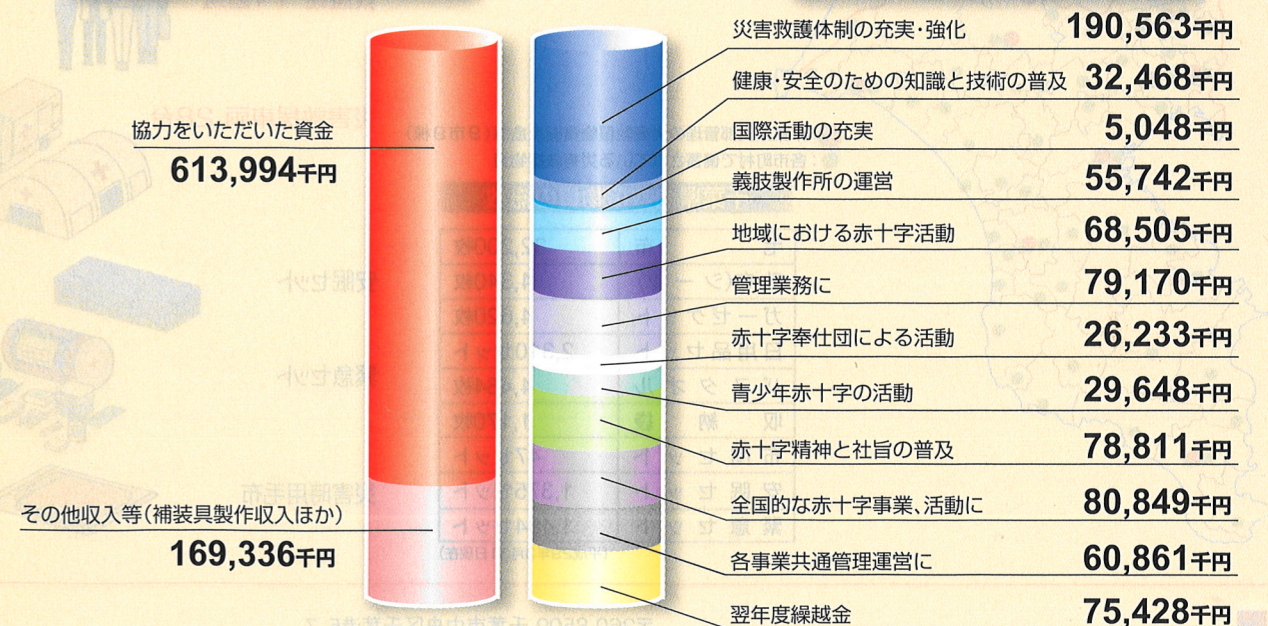
おかげさまで、平成28年度も県内、国内、国外で様々な活動を行うことができました。
今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度ご協力いただいた活動資金 **613,994千円**

平成28年度決算

収入総額 **783,331千円**

支出総額 **783,331千円**



決算額は千円未満を切り捨てているため、合計額とは一致しません。

平成28年熊本地震活動報告

日本赤十字社は発災直後から救護活動を開始、救護班207班(計1,600人)の派遣をはじめ、全国から支援を届けました。



最大震度7の地震により、大きな被害が発生しました。



巡回診療や仮設診療所などで医療救護活動にあたりました。

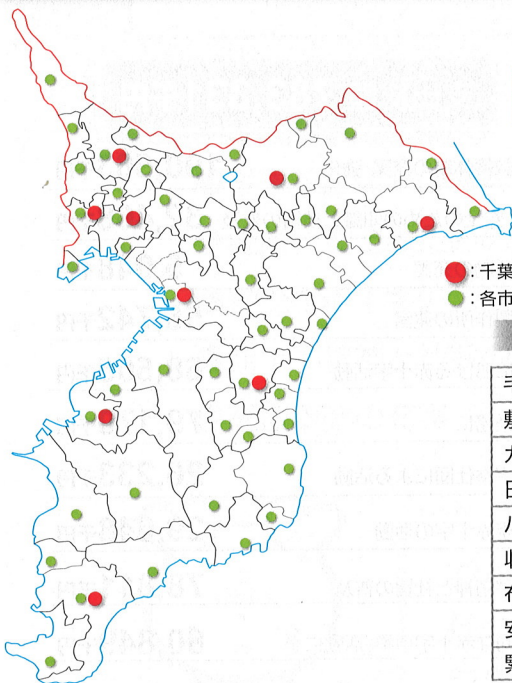


発災直後に救援物資を積んだトラックが出動しました。



毛布22,480枚をはじめとした救援物資を配付しました。

災害時に備え、県内9か所の拠点倉庫に救援物資を備蓄しているほか、県内各市町村にも救援物資を備蓄しています。
また、医師・看護師等からなる救護班を常備し、災害発生時に直ちに被災地へ派遣する体制を整えています。



救援物資備蓄状況

- : 千葉県支部管理の災害救援物資拠点倉庫(9市9棟)
- : 各市町村で備蓄されている災害救援物資

千葉県内救援物資の総数

毛 布	32,200枚
敷 布(シ ーツ)	4,340枚
ガーゼケット	4,620枚
日用品セット	2,310セット
バスタオル	4,464枚
収 納 袋	1,170枚
布 団 セ ッ ト	47セット
安 眠 セ ッ ト	1,375セット
緊 急 セ ッ ト	1,494セット

(平成29年3月31日現在)

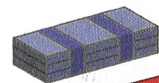
救護班 14個班



災害救援車両 28台



安眠セット



緊急セット



災害時用毛布

